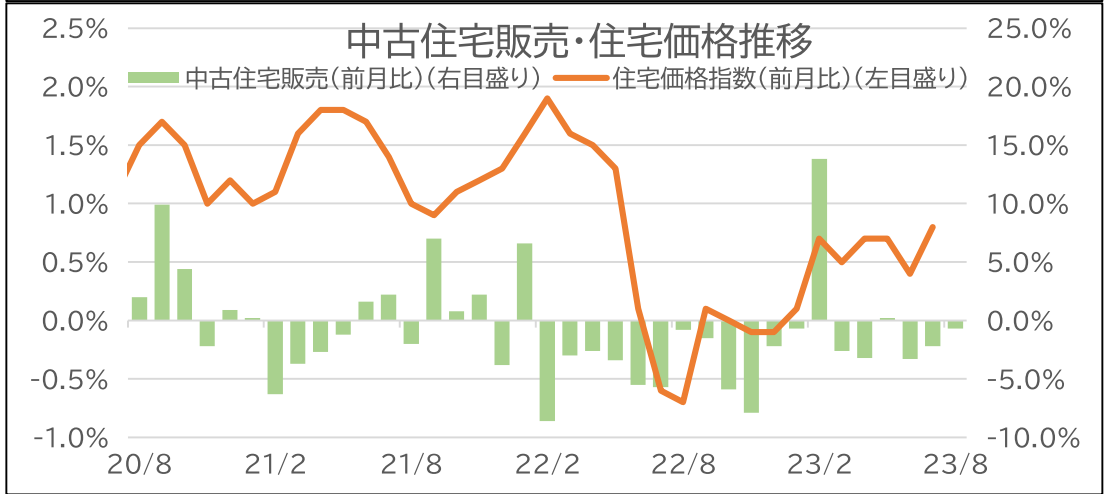
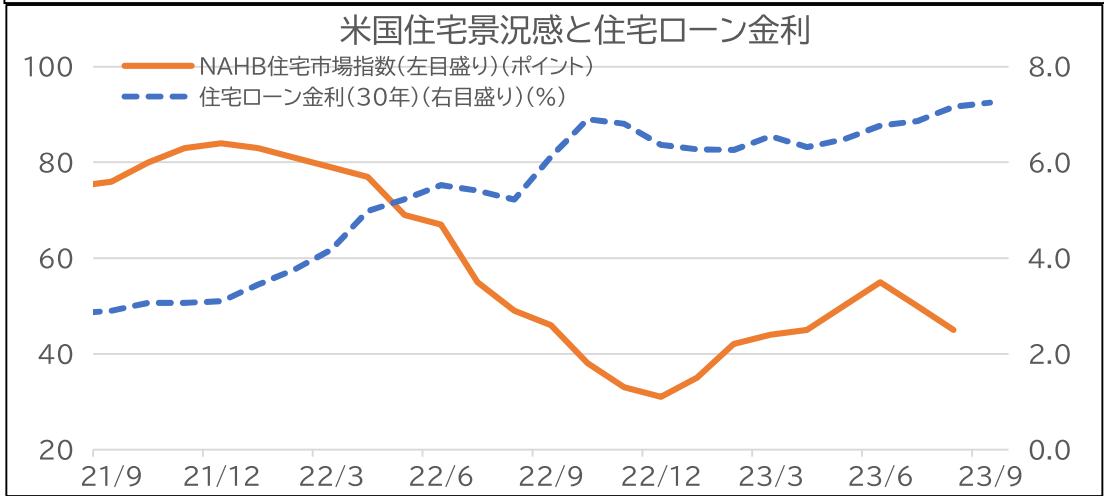


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
9月米国 住宅市場

2023/10/2 第52号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)NAHB、NAR、FHFA 資料より作成。

米国では、昨年末を底に住宅市場の景況感を示す住宅市場指数が上昇しつづけ、復調の兆しをみせていた。しかし、住宅ローン金利が再上昇し7%台に到達したことや、財(モノ)価格対比で遅効性が強い住宅価格の上昇を受け、回復基調の腰折れが鮮明化し始めている。

住宅市場が直接的に米国経済に与える影響はそこまで大きくはないものの、個人消費などを通じて間接的に与える影響は大きく、今後の米国経済の行く末を占ううえで、住宅市場の動向にも注意を払う必要がある。